

映像配信関連技術**地上波デジタル放送に採用される「H.264」 著作権管理技術も待たれる**

ビデオ圧縮に関する国際標準には、ISO/IECで策定されたMPEG-4などなどのほかにITU-Tの「Hシリーズ」と呼ばれる勧告（国際標準）がある。中でも、H.264はMPEG-4の一部として、低リソースでDVD品質の配信が可能となる形式で、沖電気やenvivioなどから新たなソフトウェアコーデックが開発され、MPEG-4の1.5～2倍の圧縮性能を実現している。

H.264は、放送業界からも注目を集めており、国内での地上波デジタル放送の移動体向けフォーマットとして「AVC/H.264」が採用され、2005年からの実用化を計画中だ。また、データ圧縮率が同程度といわれるマイクロソフトのWMV9とともに、東芝やNECが推進する次世代DVD規格「HD DVD」（15GBのディスクに2時間分のHDTV番組やHD形式の映画を収録可

能）のビデオコーデックの有力候補となっている。

一方、コンテンツ管理や著作権管理のための技術も新たな標準化が行われている。ISO/IEC JTC1 SC29/WG11で策定されているMPEG-7は、正式名称を「Multimedia Content Description Interface」と呼び、マルチメディアコンテンツを有効に検索するための記述方法を定めたものだ。大きく分けて、以下の3つの標準化が進められている。

- ・記述子（Descriptor）：「色」や「形」などの属性と「赤」や「四角」といった表現値の組み合わせで表し、画像の色や形状、テキスト、メロディ、楽器、無音情報などを記述する。
- ・記述スキーマ（Description Scheme）属性と表現値といった簡単な組み合わせではなく、メディア情報や要約情報、ユーザーの好みなどの情報を記述する。

・記述定義言語（Description Definition Language）：W3CのXML Schemaをベースとした言語にデータ型を追加したもの。

コンテンツ流通や著作権保護の技術を標準化するためにMPEG-21という規格も提案されている。「デジタル項目宣言」「コンテンツ表現」「デジタル項目識別と記述」「コンテンツ運営と使用」「知的財産権運営と保護」「ターミナルとネットワーク」「イベント報告機能」の7つの要素に関しての標準化が行われ、「権利表記言語」や「権利データディクショナリ」の2つの著作権管理技術に対する策定を終えている。さらに、MPEG-4に適用できるDRM（Digital Rights Management）技術としてISMAから「Encryption and Authentication Specification v.1.0」という仕様書も発表された。

情報共有技術**企業システムでも注目される「ブログ」や他のウェブサイト構築ツール**

ERP、SCM、CRMなどから発展して、最近ではBI（ビジネスインテリジェンス）やEIP（企業情報ポータル）などのバックエンドのデータベースからウェブまでを包括した意思決定システムや情報共有システムが登場してきている。各システムベンダーなどが競ってこれらの製品を発表して企業への売り込みを行っているが、BIやEIPなどの言葉は違っても、どれも顧客満足度を高め、販売機会を逃さずに迅速な意思決定を行い、効果的なマーケティングやキャンペーン活動を行うという考え方に違いはない。

一方、昨年からはブームを巻き起こしているといわれブログ（Blog、ウェブログ：Weblogともいわれる）の盛り上がりからも新たな動きが出てきている。

ブログの特徴としては、テキストや画像などのコンテンツを時系列に並べて簡

単にアップロードでき、テンプレートを利用するためにHTMLなどの知識がなくても一定のデザインで表示できることが挙げられる。つまり、現在は個人ユーザーなどによる盛り上がりを見せているブログであるが、情報公開や更新の手間が省けることを考えれば、今後は企業でのブログシステムの導入が一般的となってくることが予想されるのだ。

実際に、2004年5月には日立製作所から企業向けのブログサービス「BOXER BLOG powered by Type Pad」が発表されている。これは、ブログツールで有名な「Movable Type」を開発したシックス・アパートのブログサービス「TypePad」を利用したもので、シックス・アパートが日本法人を2004年3月に設立したことからも、今後の国内での企業向けのブログサービスが増えてくるものと思われる。

これらの企業向けブログシステムが増えてくれば、RSS（RDF Site Summary）を使ったサイト情報の要約と公開も今後増えてくることが予想できる。RSSは、サイトの概要をメタデータとして簡潔に記述するXMLフォーマットで、ニュースリーダーなどで利用できるものだ。RSSを使った情報の要約と公開の例としては、アサヒ・コムが有名だが、現状ではこうしたサイトはまだ少ない。

ウェブサイト構築ツールという点では、XOOPSの登場も注目される。XOOPSはPHP言語を用いたコミュニティサイト構築ソフトで、GPLに基づくオープンソースで書かれており、個人でも手軽にユーザー登録型のポータルサイトを構築できる。現在は一部のヘビーユーザーの利用がほとんどだが、企業で導入するケースも増えている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp